



平成19年12月19日

各 位

会 社 名 イメージ情報開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 代永 拓史
(コード番号 3803 大証ヘラクレス)
問合せ先
経営管理部ジェネラルマネージャー
小宮山 久和
(TEL03-5733-5631)

(訂正) 平成20年3月期 中間決算短信(非連結)の訂正について

当社は、平成19年11月12日に発表いたしました「平成20年3月期 中間決算短信(非連結)」の記載内容に一部訂正を要する箇所がありましたので、下記の通りお知らせいたします。つきましては、当該訂正中間決算短信(非連結)の具体的な訂正内容をお知らせいたします。訂正前と訂正後をそれぞれ添付し、訂正箇所には_____を付して表示しております。

記

訂正理由

- (1)「平成20年3月期 中間決算短信(非連結)」を平成19年11月12日に発表いたしました。発表後において後発事象が発生いたしましたので、損益計算書について売上高、売上原価の金額を訂正いたします。当社は、売上の収益認識は検収基準で計上しておりますが、商品販売検収完了していた商品について返品がありましたので、訂正するものであります。
- (2) 損益計算書について売上原価、販売費及び一般管理費に計上いたしました賞与引当金繰入額の金額を訂正いたします。
- (3) それに伴いまして、関連箇所を訂正いたします。

以 上

訂正箇所

1. 1 ページ(下線部が訂正箇所。以下同じ)

1. 平成20年3月中間期の業績(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(訂正前)

(1) 経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年9月中間期	512	32.1	10		12		48	
18年9月中間期	388		△60		△69		△37	
19年3月期	998	—	△112	—	△119	—	△182	—

	1株当たり中間 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり中間 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年9月中間期	5,562	86	—	—
18年9月中間期	△4,281	24	—	—
19年3月期	△20,901	15	—	—

(参考) 持分法投資損益 19年9月中間期 一百万円 18年9月中間期 一百万円 19年3月期 一百万円
 期中平均株式数 19年9月中間期 8,742株 18年9月中間期 8,657株 19年3月期 8,732株

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
19年9月中間期	1,398		1,117		79.9		128,405	91
18年9月中間期	1,533		1,294		84.4		145,463	37
19年3月期	1,416		1,121		79.2		127,455	68

(参考) 自己資本 19年9月中間期 1,117百万円 18年9月中間期 1,294百万円 19年3月期 1,121百万円

(訂正後)

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年9月中間期	484	24.7	0		1		37	
18年9月中間期	388		△60		△69		△37	
19年3月期	998	—	△112	—	△119	—	△182	—

	1株当たり中間 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり中間 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年9月中間期	4,306	73	—	—
18年9月中間期	△4,281	24	—	—
19年3月期	△20,901	15	—	—

(参考) 持分法投資損益 19年9月中間期 一百万円 18年9月中間期 一百万円 19年3月期 一百万円
 期中平均株式数 19年9月中間期 8,768株 18年9月中間期 8,657株 19年3月期 8,732株

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
19年9月中間期	1,384		1,106		79.9		127,156	59
18年9月中間期	1,533		1,294		84.4		145,463	37
19年3月期	1,416		1,121		79.2		127,455	68

(参考) 自己資本 19年9月中間期 1,106百万円 18年9月中間期 1,294百万円 19年3月期 1,121百万円

2. 3 ページ

1 経営成績

(1) 経営成績に関する分析

(当中間会計期間の概要)

(訂正前)

当中間会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴う堅調な設備投資や雇用情勢の改善に支えられ底堅く推移し、景気は緩やかながらも拡大基調をつづけました。IT(情報技術)関連分野においても、ITシステムがビジネスのあらゆる業務を支える重要なインフラとなっている現在、システム開発現場では工期の短縮化や品質・信頼性など、従来にも増して厳しい条件を課すようになっている状況です。

このような状況の中、当社は売上拡大と新規顧客獲得を図ってまいりました。

この結果、当中間会計期間の業績につきましては、売上高は512,733千円(前年同期比32.1%増)、営業利益は10,913千円(前年同期は60,983千円の営業損失)、経常利益は12,625千円(前年同期は69,327千円の経常損失)、中間純利益は48,630千円(前年同期は37,062千円の中間純損失)となりました。

(当期の見通し)

原油価格や為替の動向、海外情勢の変化等による、景気への不安材料はありますが、景気は堅調に推移するものと予想されます。当情報サービス産業におきましては、好調な企業業績に伴う法人のIT投資への増加を背景に、業務システムへの投資の増加が期待されます。

このような環境の中で、セキュリティ対策支援、非接触書込みシステム、物流システムを中心にした新規顧客の開拓と商店街等の団体向けサービスの拡充により、販売拡大を図ってまいります。以上により通期の業績につきましては、売上高1,250,000千円、営業利益45,000千円、経常利益45,000千円、当期純利益100,000千円を予定しております。

(訂正後)

当中間会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴う堅調な設備投資や雇用情勢の改善に支えられ底堅く推移し、景気は緩やかながらも拡大基調をつづけました。IT(情報技術)関連分野においても、ITシステムがビジネスのあらゆる業務を支える重要なインフラとなっている現在、システム開発現場では工期の短縮化や品質・信頼性など、従来にも増して厳しい条件を課すようになっている状況です。

このような状況の中、当社は売上拡大と新規顧客獲得を図ってまいりました。

この結果、当中間会計期間の業績につきましては、売上高は484,162千円(前年同期比24.7%増)、営業利益は43千円(前年同期は60,983千円の営業損失)、経常利益は1,756千円(前年同期は69,327千円の経常損失)、中間純利益は37,761千円(前年同期は37,062千円の中間純損失)となりました。

(当期の見通し)

原油価格や為替の動向、海外情勢の変化等による、景気への不安材料はありますが、景気は堅調に推移するものと予想されます。当情報サービス産業におきましては、好調な企業業績に伴う法人のIT投資への増加を背景に、業務システムへの投資の増加が期待されます。

このような環境の中で、セキュリティ対策支援、非接触書込みシステム、物流システムを中心にした新規顧客の開拓と商店街等の団体向けサービスの拡充により、販売拡大を図ってまいります。以上により通期の業績につきましては、売上高1,250,000千円、営業利益45,000千円、経常利益45,000千円、当期純利益100,000千円を予定しております。

(2) 財政状態に関する分析

① 資産、負債、純資産の状況

(訂正前)

(資産)

当中間会計期間末の総資産は1,398,661千円(前事業年度末は1,416,067千円)となり、前事業年度末に比べ17,405千円の減少となりました。この主な要因は流動資産では現金及び預金が29,106千円増加したものの、売掛金が51,579千円減少、たな卸資産が4,080千円減少したこと等によるものであります。固定資産では、有形固定資産が35,875千円が増加したものの、投資その他の資産が24,281千円が減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債の合計は281,530千円(前事業年度末は294,457千円)となり、前事業年度末に比べ12,927千円の減少となりました。この主な要因は流動負債では、前受金が7,612千円が増加したものの、買掛金が30,561千円減少したこと等によるものであります。固定負債では退職給付引当金が6,534千円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の合計は1,117,131千円(前事業年度は1,121,609千円)となり、前事業年度末に比べ4,478千円の減少となりました。この主な要因は自己株式の取得25,682千円および中間純利益の計上により利益剰余金が22,230千円増加したこと等によるものであります。

(訂正後)

(資産)

当中間会計期間末の総資産は1,384,884千円(前事業年度末は1,416,067千円)となり、前事業年度末に比べ31,183千円の減少となりました。この主な要因は流動資産では現金及び預金が29,106千円増加、たな卸資産が12,141千円増加したものの、売掛金が81,579千円減少したこと等によるものであります。固定資産では、有形固定資産が35,875千円が増加したものの、投資その他の資産が24,281千円が減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債の合計は278,622千円(前事業年度末は294,457千円)となり、前事業年度末に比べ15,835千円の減少となりました。この主な要因は流動負債では、前受金が7,612千円が増加したものの、買掛金が30,561千円減少したこと等によるものであります。固定負債では退職給付引当金が6,534千円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の合計は1,106,262千円(前事業年度は1,121,609千円)となり、前事業年度末に比べ15,347千円の減少となりました。この主な要因は自己株式の取得25,682千円および中間純利益の計上により利益剰余金が11,361千円増加したこと等によるものであります。

3. 4 ページ

(訂正前)

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ 28,622千円増加し、478,105千円となりました。当中間会計期間中における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、126,824千円(前年同期は使用した資金141,715千円)となりました。収入の主な要因は、売上債権の減少額53,028千円、移転補償金の受取額56,433千円等であり、支出の主な要因は、仕入債務の減少額30,561千円及び法人税等の支払額2,404千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、46,436千円(前年同期は使用した資金444,456千円)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出42,570千円、貸付による支出3,000千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、51,765千円(前年同期は得られた資金724,161千円)となりました。この主な要因は、自己株式の取得による支出25,682千円、配当金の支払額26,083千円によるものであります。当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成17年9月 中間期	平成18年3月期	平成18年9月 中間期	平成19年3月期	平成19年9月 中間期
自己資本比率	63.2	62.1	84.4	79.2	79.9
時価ベースの自己資本比率	—	—	229.3	121.8	133.7
キャッシュ・フロー対有利子 負債比率	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・ レシオ	—	—	—	—	—

(注) 1. 自己資本比率=自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)によっております。

なお、平成17年9月中間期、平成18年3月期においては未上場であったため、記載を省略しております。

3. キャッシュ・フロー対有利子負債比率およびインタレスト・カバレッジ・レシオは、当社は各期とも有利子負債が存在しないため、記載を省略しております。

(訂正後)

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ 28,622千円増加し、478,105千円となりました。当中間会計期間中における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、126,824千円(前年同期は使用した資金141,715千円)となりました。収入の主な要因は、売上債権の減少額83,028千円、移転補償金の受取額56,433千円等であり、支出の主な要因は、仕入債務の減少額30,561千円及び法人税等の支払額2,404千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、46,436千円(前年同期は使用した資金444,456千円)となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出42,570千円、貸付による支出3,000千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、51,765千円(前年同期は得られた資金724,161千円)となりました。この主な要因は、自己株式の取得による支出25,682千円、配当金の支払額26,083千円によるものであります。当社のキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成17年9月 中間期	平成18年3月期	平成18年9月 中間期	平成19年3月期	平成19年9月 中間期
自己資本比率	63.2	62.1	84.4	79.2	79.9
時価ベースの自己資本比率	—	—	229.3	121.8	<u>135.0</u>
キャッシュ・フロー対有利子 負債比率	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・ レシオ	—	—	—	—	—

(注) 1. 自己資本比率=自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー/利払い

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)によっております。

なお、平成17年9月中間期、平成18年3月期においては未上場であったため、記載を省略しております。

3. キャッシュ・フロー対有利子負債比率およびインタレスト・カバレッジ・レシオは、当社は各期とも有利子負債が存在しないため、記載を省略しております。

4. 6 ページ

(4) 事業等のリスク

6) 特定の取引先への依存について

(訂正前)

① 当社の売上の4.0%は三菱UFJニコス株式会社、16.9%は沖電気工業株式会社に対するものであります。当該取引先の事業方針の変更がなされた場合、業績に影響を与える可能性があります。

② 当社の取り扱うセキュリティ関連ソフトウェア商品は、ハミングヘッズ社のセキュリティプラットフォームがほぼ100%となっております。同社とは販売代理店契約を締結しておりますが、その関係の変更・解消があった場合、もしくは同社の経営状態の動向により、業績に影響を与える可能性があります。

(訂正後)

① 当社の売上の4.2%は三菱UFJニコス株式会社、17.8%は沖電気工業株式会社に対するものであります。当該取引先の事業方針の変更がなされた場合、業績に影響を与える可能性があります。

② 当社の取り扱うセキュリティ関連ソフトウェア商品は、ハミングヘッズ社のセキュリティプラットフォームがほぼ100%となっております。同社とは販売代理店契約を締結しておりますが、その関係の変更・解消があった場合、もしくは同社の経営状態の動向により、業績に影響を与える可能性があります。

5. 10ページ

4 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(訂正前)

区分	注記 番号	前中間会計期間末 (平成18年9月30日)		当中間会計期間末 (平成19年9月30日)		前事業年度貸借対照表 (平成19年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(資産の部)							
I 流動資産							
1 現金及び預金		999,837		878,907		849,801	
2 受取手形		—		29,158		30,607	
3 売掛金		189,324		<u>257,370</u>		308,950	
4 たな卸資産		50,765		<u>14,039</u>		18,119	
5 繰延税金資産		52,553		—		—	
6 その他	※2	11,458		15,410		16,024	
貸倒引当金		△186		△85		△135	
流動資産合計		1,303,753	85.0	<u>1,194,800</u>	<u>85.4</u>	1,223,369	86.4
II 固定資産							
1 有形固定資産	※1	14,587	1.0	47,735	3.4	11,859	0.8
2 無形固定資産		2,977	0.2	3,303	0.2	3,734	0.3
3 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券		105,791		70,841		97,883	
(2) 敷金及び保証金		42,270		50,434		50,423	
(3) 繰延税金資産		35,005		—		—	
(4) その他		29,007		31,547		28,797	
貸倒引当金		△0		△0		△0	
投資その他の資産 合計		212,073	13.8	152,822	<u>10.9</u>	177,103	12.5
固定資産合計		229,638	15.0	203,861	<u>14.6</u>	192,697	13.6
資産合計		1,533,391	100.0	<u>1,398,661</u>	100.0	1,416,067	100.0

区分	注記 番号	前中間会計期間末 (平成18年9月30日)		当中間会計期間末 (平成19年9月30日)		前事業年度貸借対照表 (平成19年3月31日)		
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
(負債の部)								
I 流動負債								
1 買掛金		59,628		86,079		116,640		
2 未払法人税等		—		2,725		2,404		
3 前受金		12,432		13,371		5,759		
4 賞与引当金		42,288		<u>42,518</u>		43,458		
5 その他	※2	34,499		<u>38,958</u>		34,849		
流動負債合計		148,848	9.7	<u>183,652</u>	13.1	203,114	14.3	
II 固定負債								
1 退職給付引当金		89,919		97,877		91,343		
固定負債合計		89,919	5.9	97,877	<u>7.0</u>	91,343	6.5	
負債合計		238,767	15.6	<u>281,530</u>	20.1	294,457	20.8	
(純資産の部)								
I 株主資本								
1 資本金		467,050	30.4	467,050	<u>33.4</u>	467,050	33.0	
2 資本剰余金								
(1) 資本準備金		510,270		510,270		510,270		
資本剰余金合計		510,270	33.3	510,270	<u>36.5</u>	510,270	36.0	
3 利益剰余金								
(1) 利益準備金		2,000		2,000		2,000		
(2) その他利益剰余金								
繰越利益剰余金		315,525		<u>192,310</u>		170,079		
利益剰余金合計		317,525	20.7	<u>194,310</u>	<u>13.9</u>	172,079	12.2	
4 自己株式		—		△51,701	△3.7	△26,019	△1.8	
株主資本合計		1,294,845	84.4	<u>1,119,929</u>	80.1	1,123,380	79.4	
II 評価・換算差額等								
1 その他有価証券 評価差額金		△221	△0.0	△2,797	△0.2	△1,770	△0.1	
評価・換算差額等 合計		△221	△0.0	△2,797	△0.2	△1,770	△0.1	
純資産合計		1,294,624	84.4	<u>1,117,131</u>	79.9	1,121,609	79.2	
負債純資産合計		1,533,391	100.0	<u>1,398,661</u>	100.0	1,416,067	100.0	

(訂正後)

区分	注記 番号	前中間会計期間末 (平成18年9月30日)		当中間会計期間末 (平成19年9月30日)		前事業年度貸借対照表 (平成19年3月31日)		
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	
(資産の部)								
I 流動資産								
1 現金及び預金		999,837		878,907		849,801		
2 受取手形		—		29,158		30,607		
3 売掛金		189,324		<u>227,370</u>		308,950		
4 たな卸資産		50,765		<u>30,262</u>		18,119		
5 繰延税金資産		52,553		—		—		
6 その他	※2	11,458		15,410		16,024		
貸倒引当金		△186		△85		△135		
流動資産合計		1,303,753	85.0	<u>1,181,023</u>	<u>85.3</u>	1,223,369	86.4	
II 固定資産								
1 有形固定資産	※1	14,587	1.0	47,735	3.4	11,859	0.8	
2 無形固定資産		2,977	0.2	3,303	0.2	3,734	0.3	
3 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券		105,791		70,841		97,883		
(2) 敷金及び保証金		42,270		50,434		50,423		
(3) 繰延税金資産		35,005		—		—		
(4) その他		29,007		31,547		28,797		
貸倒引当金		△0		△0		△0		
投資その他の資産 合計		212,073	13.8	152,822	<u>11.0</u>	177,103	12.5	
固定資産合計		229,638	15.0	203,861	<u>14.7</u>	192,697	13.6	
資産合計		1,533,391	100.0	<u>1,384,884</u>	100.0	1,416,067	100.0	

区分	注記 番号	前中間会計期間末 (平成18年9月30日)		当中間会計期間末 (平成19年9月30日)		前事業年度貸借対照表 (平成19年3月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
(負債の部)							
I 流動負債							
1 買掛金		59,628		86,079		116,640	
2 未払法人税等		—		2,725		2,404	
3 前受金		12,432		13,371		5,759	
4 賞与引当金		42,288		<u>40,515</u>		43,458	
5 その他	※2	34,499		<u>38,053</u>		34,849	
流動負債合計		148,848	9.7	<u>180,744</u>	13.1	203,114	14.3
II 固定負債							
1 退職給付引当金		89,919		97,877		91,343	
固定負債合計		89,919	5.9	97,877	7.1	91,343	6.5
負債合計		238,767	15.6	<u>278,622</u>	20.1	294,457	20.8
(純資産の部)							
I 株主資本							
1 資本金		467,050	30.4	467,050	33.7	467,050	33.0
2 資本剰余金							
(1) 資本準備金		510,270		510,270		510,270	
資本剰余金合計		510,270	33.3	510,270	36.8	510,270	36.0
3 利益剰余金							
(1) 利益準備金		2,000		2,000		2,000	
(2) その他利益剰余金							
繰越利益剰余金		315,525		<u>181,440</u>		170,079	
利益剰余金合計		317,525	20.7	<u>183,440</u>	13.2	172,079	12.2
4 自己株式		—		△51,701	△3.7	△26,019	△1.8
株主資本合計		1,294,845	84.4	<u>1,106,807</u>	80.1	1,123,380	79.4
II 評価・換算差額等							
1 その他有価証券 評価差額金		△221	△0.0	△2,797	△0.2	△1,770	△0.1
評価・換算差額等 合計		△221	△0.0	△2,797	△0.2	△1,770	△0.1
純資産合計		1,294,624	84.4	<u>1,106,262</u>	79.9	1,121,609	79.2
負債純資産合計		1,533,391	100.0	<u>1,384,884</u>	100.0	1,416,067	100.0

6. 12ページ

4 中間財務諸表

(2) 中間損益計算書

(訂正前)

区分	注記 番号	前中間会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)			当中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)			前事業年度損益計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)		
		金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)	金額(千円)		百分比 (%)
I 売上高			388,267	100.0		512,733	100.0		998,900	100.0
II 売上原価			241,268	62.1		341,155	66.5		674,150	67.5
売上総利益			146,999	37.9		171,578	33.5		324,750	32.5
III 販売費及び一般管理費			207,982	53.6		160,664	31.3		437,209	43.8
営業利益又は 営業損失(△)			△60,983	△15.7		10,913	2.1		△112,458	△11.3
IV 営業外収益										
1 受取利息		72			1,118			817		
2 受取配当金		118			133			214		
3 受取手数料		—			300			350		
4 その他		101	293	0.1	438	1,990	0.4	234	1,615	0.2
V 営業外費用										
1 株式交付費	※1	4,308			—			4,308		
2 上場関連費用		4,250			—			4,250		
3 自己株式取得費		—			277			—		
4 その他		78	8,637	2.2	—	277	0.1	342	8,900	0.9
経常利益又は 経常損失(△)			△69,327	△17.8		12,625	2.5		△119,743	△12.0
VI 特別利益										
1 過年度賞与引当金 戻入益		7,896			6,821			7,896		
2 移転補償金		—			56,433			—		
3 その他		—	7,896	2.0	—	63,254	12.3	96	7,992	0.8
VII 特別損失										
1 投資有価証券評価損		—			26,307			6,900		
2 過年度売上高修正損		1,069			—			1,069		
3 固定資産除却損		—	1,069	0.3	532	26,839	5.2	—	7,969	0.8
税引前中間(当期) 純利益又は税引前 中間純損失(△)			△62,500	△16.1		49,040	9.6		△119,720	△12.0
法人税、住民税 及び事業税	※2	△25,437	△25,437	△6.6	410	410	0.1	62,788	62,788	△6.3
中間(当期)純利益 又は 中間純損失(△)			△37,062	△9.5		48,630	9.5		△182,508	△18.3

(訂正後)

区分	注記 番号	前中間会計期間 (自 平成18年 4月 1日 至 平成18年 9月30日)		当中間会計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年 9月30日)		前事業年度損益計算書 (自 平成18年 4月 1日 至 平成19年 3月31日)				
		金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)	金額(千円)	百分比 (%)			
I 売上高			388,267	100.0		484,162	100.0	998,900	100.0	
II 売上原価			241,268	62.1		323,979	66.9	674,150	67.5	
売上総利益			146,999	37.9		160,182	33.1	324,750	32.5	
III 販売費及び一般管理費			207,982	53.6		160,138	33.1	437,209	43.8	
営業利益又は 営業損失(△)			△60,983	△15.7		43	0.0	△112,458	△11.3	
IV 営業外収益										
1 受取利息			72			1,118		817		
2 受取配当金			118			133		214		
3 受取手数料			—			300		350		
4 その他			101	293	0.1	438	1,990	234	1,615	0.2
V 営業外費用										
1 株式交付費	※1		4,308			—		4,308		
2 上場関連費用			4,250			—		4,250		
3 自己株式取得費			—			277		—		
4 その他			78	8,637	2.2	—	277	342	8,900	0.9
経常利益又は 経常損失(△)			△69,327	△17.8		1,756	0.4	△119,743	△12.0	
VI 特別利益										
1 過年度賞与引当金 戻入益			7,896			6,821		7,896		
2 移転補償金			—			56,433		—		
3 その他			—	7,896	2.0	—	63,254	96	7,992	0.8
VII 特別損失										
1 投資有価証券評価損			—			26,307		6,900		
2 過年度売上高修正損			1,069			—		1,069		
3 固定資産除却損			—	1,069	0.3	532	26,839	—	7,969	0.8
税引前中間(当期) 純利益又は税引前 中間純損失(△)			△62,500	△16.1		38,171	7.9	△119,720	△12.0	
法人税、住民税 及び事業税	※2		△25,437	△25,437	△6.6	410	410	62,788	62,788	△6.3
中間(当期)純利益 又は 中間純損失(△)			△37,062	△9.5		37,761	7.8	△182,508	△18.3	

7. 14ページ

4 中間財務諸表

(3) 中間株主資本等変動計算書

(訂正前)

当中間会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成19年3月31日残高(千円)	467,050	510,270	510,270
中間会計期間中の変動額			
新株の発行			
剰余金の配当 (注)			
中間純利益			
自己株式の取得			
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)			
中間会計期間中の変動額合計 (千円)	—	—	—
平成19年9月30日残高(千円)	467,050	510,270	510,270

	株主資本				
	利益剰余金			自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
繰越利益剰余金					
平成19年3月31日残高(千円)	2,000	170,079	172,079	△26,019	1,123,380
中間会計期間中の変動額					
新株の発行					
剰余金の配当 (注)		△26,400	△26,400		△26,400
中間純利益		48,630	48,630		48,630
自己株式の取得				△25,682	△25,682
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)					
中間会計期間中の変動額合計 (千円)	—	22,230	22,230	△25,682	△3,452
平成19年9月30日残高(千円)	2,000	192,310	194,310	△51,701	1,119,929

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高(千円)	△1,770	△1,770	1,121,609
中間会計期間中の変動額			
新株の発行			
剰余金の配当 (注)			△26,400
中間純利益			48,630
自己株式の取得			△25,682
株主資本以外の項目の中間会計 期間中の変動額(純額)	△1,027	△1,027	△1,027
中間会計期間中の変動額合計 (千円)	△1,027	△1,027	△4,478
平成19年9月30日残高(千円)	△2,797	△2,797	1,117,131

(注)平成19年6月開催の定時株主総会における利益処分項目である。

(訂正後)

当中間会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
平成19年3月31日残高(千円)	467,050	510,270	510,270
中間会計期間中の変動額			
新株の発行			
剰余金の配当			
中間純利益			
自己株式の取得			
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)			
中間会計期間中の変動額合計 (千円)	—	—	—
平成19年9月30日残高(千円)	467,050	510,270	510,270

	株主資本				
	利益剰余金			自己株式	株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成19年3月31日残高(千円)	2,000	170,079	172,079	△26,019	1,123,380
中間会計期間中の変動額					
新株の発行					
剰余金の配当		△26,400	△26,400		△26,400
中間純利益		<u>37,761</u>	<u>37,761</u>		<u>37,761</u>
自己株式の取得				△25,682	△25,682
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)					
中間会計期間中の変動額合計 (千円)	—	<u>11,361</u>	<u>11,361</u>	△25,682	<u>△14,321</u>
平成19年9月30日残高(千円)	2,000	<u>181,440</u>	<u>183,440</u>	△51,701	<u>1,109,059</u>

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成19年3月31日残高(千円)	△1,770	△1,770	1,121,609
中間会計期間中の変動額			
新株の発行			
剰余金の配当			△26,400
中間純利益			<u>37,761</u>
自己株式の取得			△25,682
株主資本以外の項目の中間会計 期間中の変動額(純額)	△1,027	△1,027	△1,027
中間会計期間中の変動額合計 (千円)	△1,027	△1,027	<u>△15,348</u>
平成19年9月30日残高(千円)	△2,797	△2,797	<u>1,106,262</u>

8. 16ページ

4 中間財務諸表

(4) 中間キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

		前中間会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前事業年度の キャッシュ・フロー計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前中間(当期)純利益 又は税引前中間純損失(△)		△62,500	<u>49,040</u>	△119,720
減価償却費		4,842	6,921	9,991
貸倒引当金の増加額(減少額:△)		△44	△49	△96
賞与引当金の増加額(減少額:△)		△3,807	<u>5,880</u>	△2,636
退職給付引当金の増加額		4,285	6,534	5,709
受取利息及び受取配当金		△191	△1,251	△1,031
株式交付費		4,308	—	4,308
上場関連費用		4,250	—	4,250
投資有価証券評価損		—	26,307	6,900
移転補償金		—	△56,433	—
固定資産除却損		—	532	—
売上債権の減少額(増加額:△)		72,943	<u>53,028</u>	△77,289
たな卸資産の減少額(増加額:△)		△33,632	<u>4,080</u>	△987
仕入債務の増加額(減少額:△)		△18,649	△30,561	38,363
未払消費税等の減少額		△20,187	<u>6,922</u>	△20,187
その他流動資産の減少額 (増加額:△)		△2,885	37,253	△11,950
その他流動負債の増加額 (減少額:△)		△5,780	<u>△27,215</u>	△3,433
過年度賞与引当金戻入益		△7,896	△6,821	△7,896
過年度売上高修正損		1,069	—	1,069
その他		3,041	△2,625	865
小計		△60,834	71,544	△173,772
利息及び配当金の受取額		191	1,251	1,031
移転補償金の受取額		—	56,433	—
法人税等の支払額		△81,072	△2,404	△81,482
営業活動によるキャッシュ・フロー		△141,715	126,824	△254,223
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の預入による支出		△400,000	△484	△400,317
有形固定資産の取得による支出		△4,198	△42,570	△5,116
無形固定資産の取得による支出		—	△329	△2,259
投資有価証券の取得による支出		△40,500	△292	△40,888
貸付による支出		—	△3,000	—
貸付金の回収による収入		251	255	504
敷金保証金の支払額		—	—	△41,255
敷金保証金の返還による収入		—	—	33,111
その他		△9	△15	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー		△444,456	△46,436	△456,283
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
株式発行による収入		746,411	—	746,411
自己株式取得による支出		—	△25,682	△26,019
上場関連支出		△4,250	—	△4,250
配当金の支払額		△18,000	△26,083	△18,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		724,161	△51,765	698,142

		前中間会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前事業年度の キャッシュ・フロー計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額 (減少額：△)		137,989	28,622	△12,364
VI 現金及び現金同等物の期首残高		461,848	449,483	461,848
VII 現金及び現金同等物の中間期末(期末) 残高	※1	599,837	478,105	449,483

(訂正後)

		前中間会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前事業年度の キャッシュ・フロー計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
区分	注記 番号	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前中間(当期)純利益 又は税引前中間純損失(△)		△62,500	38,171	△119,720
減価償却費		4,842	6,921	9,991
貸倒引当金の増加額(減少額：△)		△44	△49	△96
賞与引当金の増加額(減少額：△)		△3,807	3,877	△2,636
退職給付引当金の増加額		4,285	6,534	5,709
受取利息及び受取配当金		△191	△1,251	△1,031
株式交付費		4,308	—	4,308
上場関連費用		4,250	—	4,250
投資有価証券評価損		—	26,307	6,900
移転補償金		—	△56,433	—
固定資産除却損		—	532	—
売上債権の減少額(増加額：△)		72,943	83,028	△77,289
たな卸資産の減少額(増加額：△)		△33,632	△12,141	△987
仕入債務の増加額(減少額：△)		△18,649	△30,561	38,363
未払消費税等の減少額		△20,187	6,266	△20,187
その他流動資産の減少額 (増加額：△)		△2,885	37,253	△11,950
その他流動負債の増加額 (減少額：△)		△5,780	△27,464	△3,433
過年度賞与引当金戻入益		△7,896	△6,821	△7,896
過年度売上高修正損		1,069	—	1,069
その他		3,041	△2,625	865
小計		△60,834	71,544	△173,772
利息及び配当金の受取額		191	1,251	1,031
移転補償金の受取額		—	56,433	—
法人税等の支払額		△81,072	△2,404	△81,482
営業活動によるキャッシュ・フロー		△141,715	126,824	△254,223
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の預入による支出		△400,000	△484	△400,317
有形固定資産の取得による支出		△4,198	△42,570	△5,116
無形固定資産の取得による支出		—	△329	△2,259
投資有価証券の取得による支出		△40,500	△292	△40,888
貸付による支出		—	△3,000	—
貸付金の回収による収入		251	255	504
敷金保証金の支払額		—	—	△41,255
敷金保証金の返還による収入		—	—	33,111
その他		△9	△15	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー		△444,456	△46,436	△456,283

		前中間会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前事業年度の キャッシュ・フロー計算書 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
株式発行による収入		746,411	—	746,411
自己株式取得による支出		—	△25,682	△26,019
上場関連支出		△4,250	—	△4,250
配当金の支払額		△18,000	△26,083	△18,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		724,161	△51,765	698,142
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—	—
V 現金及び現金同等物の増加額 (減少額：△)		137,989	28,622	△12,364
VI 現金及び現金同等物の期首残高		461,848	449,483	461,848
VII 現金及び現金同等物の中間期末(期末) 残高	※1	599,837	478,105	449,483

9. 26ページ

(1株当たり情報)

(訂正前)

前中間会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
1株当たり純資産額 145,463円37銭	1株当たり純資産額 <u>128,405円91銭</u>	1株当たり純資産額 127,455円68銭
1株当たり中間純損失 4,281円24銭 なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。	1株当たり中間純利益 <u>5,562円86銭</u> なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。	1株当たり当期純損失 20,901円15銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、記載していません。
1株当たり中間純損失の算定上の基礎 中間損益計算書上の中間純損失 37,062千円 普通株式に係る中間純損失 37,062千円 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません 普通株式の期中平均株式数 8,657株	1株当たり中間純利益の算定上の基礎 中間損益計算書上の中間純利益 48,630千円 普通株式に係る中間純利益 48,630千円 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません 普通株式の期中平均株式数 <u>8,742株</u>	1株当たり当期純損失の算定上の基礎 損益計算書上の当期純損失 182,508千円 普通株式に係る当期純損失 182,508千円 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません 普通株式の期中平均株式数 8,732株

(訂正後)

前中間会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	前事業年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
1株当たり純資産額 145,463円37銭	1株当たり純資産額 <u>127,156円59銭</u>	1株当たり純資産額 127,455円68銭
1株当たり中間純損失 4,281円24銭 なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。	1株当たり中間純利益 <u>4,306円73銭</u> なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。	1株当たり当期純損失 20,901円15銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、記載していません。
1株当たり中間純損失の算定上の基礎 中間損益計算書上の中間純損失 37,062千円 普通株式に係る中間純損失 37,062千円 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません 普通株式の期中平均株式数 8,657株	1株当たり中間純利益の算定上の基礎 中間損益計算書上の中間純利益 37,761千円 普通株式に係る中間純利益 37,761千円 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません 普通株式の期中平均株式数 <u>8,768株</u>	1株当たり当期純損失の算定上の基礎 損益計算書上の当期純損失 182,508千円 普通株式に係る当期純損失 182,508千円 普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません 普通株式の期中平均株式数 8,732株